

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	実務演習 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	選択		時間数	150時間
単位数	5単位					授業形態	実習
教科書/教材	取り組む内容に基づき印刷資料、またはpdfデータを配布						
担当教員情報							
担当教員	山田 盛久 他			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的							
実施設計課題として、実務的な知識を必要とする設計課題に取り組む。事前調査の段階では区役所等へ出向き、必要とされる情報を自ら収集したり、地域住民にヒアリングすることから問題解決の糸口を見出し、設計課題に臨む。また、建築法規で身に付けた知識を活かして確認申請図書を作成し、建築基準法に適合した建築物の設計を行う。							
到達目標							
建築設計者に必要なスキルとして、社会に適合する建築物を設計するための能力を身に付ける。事前調査にて守らなければならない社会規範、住民要望などを把握した上で、確認申請図書の作成を通して、社会に必要とされる建築物の設計ができるようになる。							
教育方法等							
授業概要	実社会で建築設計業務を遂行する上で必要な知識を、課題を通して学ぶ。役所へ出向き情報収集を行い、地域住民から要望を聞き取り、小規模な建築物の確認申請図書を作成する。建築基準法に適合する建築物の設計に必要な書類、図面を作成し、模型と共にプレゼンテーションし、田者の案と比較し、知識を深める。						
注意点	建築社会人になる上での、他者との接し方に気を付ける。知り得た個人情報はプライバシーの侵害にならないよう公開にあたっては注意する。今までに学んだ教材等を有効活用し、足りない情報は自己で調査することを徹底する。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	50%	設計課題への取り組み、完成度について評価する				
	小テスト						
	レポート	20%	事前調査報告書の内容を評価する				
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
	その他						
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	課題説明 事前調査（1）			課題内容の理解、事前調査に必要な情報収集			
2回	事前調査（2）			事前調査の実施 区役所			
3回	事前調査（3）			事前調査の実施 区役所			
4回	事前調査（4）			事前調査の実施 地域住民 他			
5回	事前調査まとめ			事前調査のまとめ 地域住民 他			
6回	事前調査 発表会			調査情報の共有を図る			
7回	基本計画（1）			事前調査情報を基に基本計画を練る			
8回	基本計画（2）			基本計画を数タイプ検討する			
9回	基本計画 発表会			基本計画の類型化を行う			
10回	基本設計（1）			基本計画の中で可能と思われる案について基本設計を進める			
11回	基本設計（2）			基本設計図をまとめる			
12回	基本設計（3）			基本設計図をまとめる			
13回	基本設計図の完成			基本設計図及び簡易模型を完成させる			
14回	建築基準法の確認			建築基準法の集団規定、単体規定に適合するかを確認する			
15回	法適合建築物へ修正			法適合建築物となるように修正する			
授業計画（16回～23回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
16回	確認申請図書の作成（1）			概要書、確認申請書の作成			
17回	確認申請図書の作成（2）			壁量計算書、換気量計算書の作成			
18回	確認申請図書の作成（3）			面積表、各種図面の作成			
19回	確認申請図書の作成（4）			確認申請図書のまとめ			
20回	プレゼンテーション（1）			プレゼンテーション図面集の作成、模型の制作			
21回	プレゼンテーション（2）			プレゼンテーション図面集の作成、模型の制作			
22回	プレゼンテーション（3）			プレゼンテーション図面集の作成、模型の制作			
23回	講評会			自身の案の発表を行い、講評を受ける。			